

立命館人間科学研究

第25号

目 次

■研究論文

生活保護加算制度の経済哲学

— 衡平性, ニーズ, 自立の検討 —

村上 慎司 (1)

供述調書の理解を促進するツールの有用性の検討

— 裁判員の理解支援をめざして —

山田 早紀・サトウタツヤ (15)

心理臨床のプロセスをとらえる調査モデルの可能性

岡本 直子 (33)

顔と職業の印象一致度が人物の認知に及ぼす影響

木原 香代子・織田 涼・八木 保樹 (47)

社会福祉の対象論

— 生活概念を通じた考察 —

森合 真一 (59)

ひきこもる若者の語りに見る“普通”への囚われと葛藤

— ひきこもる若者へのインタビュー調査から —

岡部 茜・青木 秀光・深谷 弘和・斎藤 真緒 (67)

現代フランスにおける死産児の死体の処遇

山本 由美子 (81)

■実践報告

複線経路・等至性モデルの TEM 図の描き方の一例

荒川 歩・安田 裕子・サトウタツヤ (95)

■研究ノート

ブートストラップ法を用いた抑うつ概念における類型論的アプローチ

川本 静香・小杉 考司 (109)

執筆者紹介

(115)

『立命館人間科学研究』について

(117)
